令和8年度「診療所薬剤部門の現状調査」
一般社団法人　日本病院薬剤師会　診療所委員会

貴　施　設　名（　　）
薬剤部門長氏名・肩書（　　）
記入者　氏　名・肩書（　　）
電　話　番　号（　　）
メールアドレス（　　）

＜目　次＞

A.　基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.２～
B.　診療報酬算定実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.５～
C.　診療全般、診療所業務全般・・・・・・・・・・・・・・・・P.７～
D.　多職種連携による治療管理・・・・・・・・・・・・・・・・P.８～
E.　外来・在宅医療・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.９～
F.　介護関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.１６～
G.　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.１７～
H.　入院医療・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.２０～

●調査にご協力いただくご施設の皆様へ
「診療所薬剤部門の現状調査」にご協力をいただきありがとうございます。
特に指定がある場合を除き、令和 8 年 11 月 1 日の状況を回答してください。
また、集計の関係上、「A.基本情報」は必ずご回答いただきますよう、お願いいたします。
「B. 診療報酬算定実績」～「F. 介護関連」については、各施設の実施状況に応じて、回答してください。

●無床診療所の皆様へ
「H. 入院医療」については、回答いただく必要はございません。

A. 基本情報

1. 施設区分

a　該当するもの1つにチェックをし、有床の場合は詳細を記入してください

(1)　○　無床

(2)　○　有床 →　病床数　（　　床）　（うち、療養病床　○　あり ○　なし）

1日平均在院患者数　（　　名）

b　在宅療養支援診療所の施設基準に係る届出状況についていずれかにチェックをつけてください

(1)　○　届け出ている

(2)　○　届け出ていない（往診あり）

(3)　○　届け出ていない（往診なし）

2. 対象患者

該当するもの1つにチェックをつけてください

（注：透析患者のみ等、疾病により対象患者が特定される場合には、一般患者として回答してください）

(1)　○　一般患者

(2)　○　特定の患者（従業員とその家族、学校関係者、受刑者、老健内医務室 等）

(3)　○　特定患者が主だが一般患者も受け入れている

(4)　○　その他（　　）

3. 職員数

a　薬剤師数を記入してください。該当のない場合は0（ゼロ）と記入ください

(1)　常　勤（　　人）　(2)　非常勤*1（　　人）　→(常勤換算）*2（　　人）

b　医師・歯科医師数を記入してください

(1)　常　勤（　　人）　(2)　非常勤*1（　　人）　→(常勤換算）*2（　　人）

＊1「非常勤」とは、雇用形態(有期・無期雇用等)に関わらず、貴施設が定める通常の労働者の所定労働時間より短い職員。産前産後休業、育児休業、介護休業等を取得し、所定労働時間が短い職員は「非常勤」としてください。

＊2 常勤換算は 1週間の実質勤務時間を通常の労働者の1週間の所定労働時間で除し、小数点以下2桁まで記入ください。

(例)1日4時間、週4日勤務の非常勤2人、通常の労働者の1週間の所定労働時間37.5時間の場合

：{(4 × 4) ÷ 37.5} × 2 ＝ 0.853 → 0.85人

4. 処方箋枚数等

11月1か月の処方箋枚数を記入してください。該当のない場合は0（ゼロ）と記入ください。

(1)　外来**院内**処方箋（※１）　枚数　（　　枚/月）

(2)　外来**院外**処方箋　枚数　（　　枚/月）

(3)　外来**院外**処方箋枚数割合

$$\frac{\text{外来院外処方箋枚数}}{\text{外来処方箋（院内・院外含む）枚数}} \times 100$$

○1: 0 (外来院外処方箋発行なし)，　○2:1%未満，　○3:1%以上5%未満，　○4:5%以上10%未満，

○5:10%以上20%未満，　○6:20%以上40%未満，　○7:40%以上60%未満，　○8: :60%以上80%未満，

○9:80%以上

(4) 外来**院外**処方箋枚数のうち、**電子処方箋数**の発行率

$$\frac{\text{電子処方箋数}}{\text{外来院外処方箋枚数}} \times 100$$

○1:0(外来院外処方箋または電子処方箋の発行がない)，○2:1%未満，○3:1%以上5%未満，
○4:5%以上10%未満，○5:10%以上20%未満，○6:20%以上40%未満，○7:40%以上60%未満，
○8:60%以上80%未満，○9:80%以上

(5)	外来注射処方箋（※2）	枚数	（　　枚/月）
(6)	入院処方箋（※3）	枚数	（　　枚/月）
(7)	入院注射処方箋（※4）	枚数	（　　枚/月）

※1：外来院内処方箋
…患者へ投薬するための処方箋・指示箋を対象としてください。

※2：外来注射処方箋
…院内で患者へ注射薬を投与するための処方箋・指示箋を対象としてください。
保険診療外の予防接種に係る指示は含めません。
在宅自己注射の対象薬は、該当する外来院処方箋または外来院外処方箋に含めてください。

※3：入院処方箋
…患者へ投薬するための処方箋・指示箋を対象としてください。

※4：入院注射処方箋
…患者へ注射薬を投与するための処方箋・入院注射処置指示箋を対象としてください。
在宅自己注射の対象薬は、該当する入院処方箋に含めてください。

5. 開設主体

該当するもの1つにチェックをつけてください

(1)	○	国・自治体（厚生労働省，(独)国立病院機構，国立大学法人，(独)労働者健康安全機構，都道府県，市町村，一部事務組合，公立大学法人）
(2)	○	公的(日本赤十字社，済生会，北海道社会事業協会，厚生連，地域医療機能推進機構)
(3)	○	社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会，厚生年金事業振興団，船員保険会，健康保険組合，共済組合，国民健康保険組合，国家公務員共済組合連合会)
(4)	○	医療法人(社団，財団特定等)
(5)	○	個人
(6)	○	その他（私立学校法人，社会福祉法人，医療生協，会社 等)

6. 医療安全体制

薬剤師が就いている役職の全てにチェックをつけてください

(1)	□	医療安全管理者
(2)	□	医薬品安全管理責任者
(3)	□	医療機器安全管理責任者

7. 職員の処遇改善

a　令和6年度に、職員の処遇改善（賃上げ）を実施しましたか。
該当するもの１つにチェックをつけてください

(1)　○　実施した　　b.の設問に回答してください

(2)　○　実施していない　　c.の設問に回答してください

(3)　○　わからない　　c.の設問に進んでください

b　令和6年度に、職員の処遇改善（賃上げ）を実施した場合、薬剤師は対象ですか。
該当するもの１つにチェックをつけてください

(1)　○　薬剤師は対象となっている

(2)　○　薬剤師は対象となっていない

c　令和7年度に、職員の処遇改善（賃上げ）を実施しましたか。
該当するもの１つにチェックをつけてください

(1)　○　実施した　　d.の設問に回答してください

(2)　○　実施していない　　e.の設問に回答してください

(3)　○　わからない　　e.の設問に進んでください

d　令和7年度に、職員の処遇改善（賃上げ）を実施した場合、薬剤師は対象ですか。
該当するもの１つにチェックをつけてください

(1)　○　薬剤師は対象となっている

(2)　○　薬剤師は対象となっていない

e　令和8年度に、職員の処遇改善（賃上げ）を実施または予定していますか。
該当するもの１つにチェックをつけてください

(1)　○　実施した　　f.の設問に回答してください

(2)　○　予定している　　f.の設問に回答してください

(3)　○　予定はない　　設問8へ進んでください

(4)　○　わからない　　設問8へ進んでください

f　令和8年度に、職員の処遇改善（賃上げ）を実施または予定している場合、薬剤師は対象ですか。
該当するもの１つにチェックをつけてください

(1)　○　薬剤師は対象となっている

(2)　○　薬剤師は対象となっていない

(3)　○　薬剤師を対象とするかは決まっていない

B. 診療報酬算定実績（調剤料、調剤技術基本料は含みません）

算定実績を伴わない業務を実施されているご施設は、「C. 外来・在宅医療」以降にお進みください

8. 薬剤師が関連しうる診療報酬の算定実績

a　11月１か月に算定した項目すべてにチェックをつけてください

(1)	□	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
(2)	□	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅱ)
(3)	□	入院ベースアップ評価料
(4)	□	薬剤総合評価調整管理料
(5)	□	薬剤総合評価調整管理料　連携管理加算
(6)	□	向精神薬調整連携加算
(7)	□	バイオ後続品使用体制加算
(8)	□	地域支援・外来医薬品供給対応体制加算1（シェア90%以上）
(9)	□	地域支援・外来医薬品供給対応体制加算2（シェア85%以上）
(10)	□	地域支援・外来医薬品供給対応体制加算3（シェア75%以上）
(11)	□	バイオ後続品導入初期加算
(12)	□	外来化学療法加算1(1)
(13)	□	外来化学療法加算1(2)
(14)	□	外来化学療法加算2(1)
(15)	□	外来化学療法加算2(2)
(16)	□	外来化学療法加算　バイオ後続品導入初期加算
(17)	□	がん患者指導管理料　ハ
(18)	□	外来緩和ケア管理料
(19)	□	外来腫瘍化学療法診療料1 イ
(20)	□	外来腫瘍化学療法診療料1 ロ
(21)	□	外来腫瘍化学療法診療料2 イ
(22)	□	外来腫瘍化学療法診療料2 ロ
(23)	□	外来腫瘍化学療法診療料3 イ
(24)	□	外来腫瘍化学療法診療料3 ロ
(25)	□	外来腫瘍化学療法診療料　小児加算
(26)	□	外来腫瘍化学療法診療料　連携充実加算
(27)	□	外来腫瘍化学療法診療料　がん薬物療法体制充実加算
(28)	□	生活習慣病管理料(Ⅰ)
(29)	□	生活習慣病管理料(Ⅱ)
(30)	□	心不全再入院予防継続管理料３
(31)	□	喘息治療管理料１

(32) □ 喘息治療管理料2

(33) □ 糖尿病透析予防管理指導料

(34) □ 二次性骨折予防継続管理料1

(35) □ 二次性骨折予防継続管理料2

(36) □ 二次性骨折予防継続管理料3

(37) □ 地域包括診療料

(38) □ 地域包括診療加算

(39) □ 薬剤適正使用連携加算

(40) □ 在宅患者訪問薬剤管理指導料１

(41) □ 在宅患者訪問薬剤管理指導料２

(42) □ 在宅患者訪問薬剤管理指導料３

(43) □ 在宅患者訪問薬剤管理指導料　麻薬管理加算

(44) □ 在宅患者訪問薬剤管理指導料　乳幼児加算

(45) □ 居宅療養管理指導（薬剤師が行う場合）

(46) □ 訪問診療薬剤師同時指導料

(47) □ 退院時共同指導料1（退院後の在宅療養を担う在支診診療所）

(48) □ 無菌製剤処理料1 イ

(49) □ 無菌製剤処理料1 ロ

(50) □ 投与時閉鎖式接続器具使用加算

(51) □ 無菌製剤処理料2

(52) □ 外来感染対策向上加算

(53) □ 感染対策向上加算3

(54) □ 感染対策向上加算　連携強化加算　（加算２又は３の保険医療機関）

(55) □ 感染対策向上加算　サーベイランス強化加算（加算２又は３の保険医療機関）

(56) □ 医療安全対策加算1

(57) □ 医療安全対策加算2

(58) □ 医療安全対策地域連携加算1

(59) □ 医療安全対策地域連携加算2

(60) □ 患者サポート体制充実加算

(61) □ 入院時支援加算

(62) □ 薬剤管理指導料1

(63) □ 薬剤管理指導料2

(64) □ 薬剤管理指導料　麻薬管理指導加算

(65) □ 退院時薬剤情報管理指導料

(66) □ 退院時共同指導料2（当該患者が入院している保険医療機関）

(67) □ 薬剤総合評価調整加算

(68)	□	薬剤調整加算
(69)	□	地域支援・医薬品供給対応体制加算1（入院：シェア90%以上）
(70)	□	地域支援・医薬品供給対応体制加算2（入院：シェア85%以上）
(71)	□	地域支援・医薬品供給対応体制加算3（入院：シェア75%以上）
(72)	□	電子的診療情報連携体制整備加算 1
(73)	□	電子的診療情報連携体制整備加算 2
(74)	□	電子的診療情報連携体制整備加算 3

C．診療全般、診療所業務全般

9. 貴施設において以下の項目のうち薬剤師が関与・実施しているものはどれですか

a 以下の業務への薬剤師の関わりについて、該当する実施状況にチェックをつけてください 実施状況の判断基準の目安 →（かなり：8割以上／よく：5割以上／時々：5割未満）			実施している			実施していない
			かなり	よく	時々	
(1) 薬品管理（発注、在庫管理、マスタ管理等）			○	○	○	○
(2) 医療安全・医薬品安全管理（他職種との連携、指導、研修の実施、管理体制への関与等）			○	○	○	○
(3) 院内感染対策（他職種との連携、指導、研修の実施、管理体制への関与等）			○	○	○	○
医薬品情報管理	(4)	医薬品の有効性・安全性情報の収集、管理	○	○	○	○
	(5)	医療スタッフへの助言や相談への応需等	○	○	○	○
	(6)	採用薬の検討・見直し等への提案	○	○	○	○
(7) 治験の実施に関連する業務			○	○	○	○
(8) 放射性医薬品の取扱いに関連する業務			○	○	○	○
(9) 健康管理業務としての生活習慣病の重症化予防対策（禁煙指導等を含む）			○	○	○	○
(10) 予防接種、健診（検診）等における薬品適正使用管理			○	○	○	○
(11) 患者や家族の健康管理・医療相談等			○	○	○	○
(12) 患者教育、地域住民等への啓発等（治療教室の開催、パンフレット作成配布等）			○	○	○	○
(13) 教育・研究（研修学生、医療従事者への講義、指導等を含む）			○	○	○	○
(14) 経営・管理への参画（事務管理、会議、委員会への出席等を含む）			○	○	○	○
(15) 休日夜間急患対応（日当直、オンコール等）			○	○	○	○
(16) その他（　　）			○	○	○	○

D．多職種連携による治療管理

10. 以下の治療管理に薬剤師として関わっていますか

（入院・外来・在宅等は問いません）

※スタッフ間で十分コミュニケーションがとれていることが前提となります

a　該当するものすべてにチェックをつけてください

(1)	□	院内感染・感染制御	(2)	□	抗菌薬適正使用サポート
(3)	□	予防医療（ワクチン等）	(4)	□	渡航外来
(5)	□	妊産婦・授乳婦サポート	(6)	□	生殖補助医療サポート
(7)	□	小児医療サポート	(8)	□	禁煙サポート
(9)	□	喘息管理・呼吸サポート	(10)	□	アレルギー疾患サポート（食物アレルギーなど）
(11)	□	自己免疫疾患サポート	(12)	□	生活習慣病サポート
(13)	□	腎臓病・透析ケア	(14)	□	心不全・循環器
(15)	□	糖尿病療養指導・透析予防	(16)	□	睡眠障害サポート
(17)	□	精神科	(18)	□	心療内科
(19)	□	脳血管障害	(20)	□	認知症
(21)	□	がん・化学療法	(22)	□	緩和ケア
(23)	□	神経難病　（ALS,パーキンソン病等）	(24)	□	周術期管理・術後疼痛管理
(25)	□	NST（栄養サポート）	(26)	□	摂食嚥下支援
(27)	□	口腔ケア	(28)	□	褥瘡対策
(29)	□	その他（　　）			

b　aでチェックした項目について、貴施設で、取り組んでいることやお考えがありましたら、記述してください（複数可）

(1) aでチェックをつけた番号：(　　)，該当する実施場所：□外来，□在宅，□病棟

《取り組みやお考え》

(2) aでチェックをつけた番号：(　　)，該当する実施場所：□外来，□在宅，□病棟

《取り組みやお考え》

(3) aでチェックをつけた番号：(　　), 該当する実施場所：□外来, □在宅, □病棟

《取り組みやお考え》

(4) aでチェックをつけた番号：(　　), 該当する実施場所：□外来, □在宅, □病棟

《取り組みやお考え》

(5) aでチェックをつけた番号：(　　), 該当する実施場所：□外来, □在宅, □病棟

《取り組みやお考え》

E．外来・在宅医療

11. 貴施設では、外来診療または在宅診療を行っていますか	**○1:行っている** a.の設問に回答してください **○2:行っていない** 設問17へ進んでください

a 以下の各業務への薬剤師のかかわりについて、該当する実施状況[注)]にチェックをつけてください 注）設問意図が重複すると考えられる場合は その全てにチェックをつけてください	実施状況の判断基準の目安→ かなり：8割以上 よ　く：5割以上 時　々：5割未満	実施している			実施していない
		かなり	よく	時々	
(1) （診察前）薬剤師による問診、面談（PBPM 等に基づく)、患者とその薬物療法の課題解決のための情報共有		○	○	○	○
(2) （診察前）患者とその薬物療法の課題解決のための情報提供		○	○	○	○
(3) （診察時）医師の診察への同席・同行（PBPM 等に基づく)、患者とその薬物療法の課題解決のための情報共有		○	○	○	○
(4) 副作用回避又は確認のためのフィジカルアセスメントの実施		○	○	○	○
(5) セルフモニタリングの確認等、重症化予防のための生活習慣の管理支援		○	○	○	○
(6) アドヒアランスの支援・確認・管理		○	○	○	○

	実施状況の判断基準の目安→（かなり：8割以上 よ　く：5割以上 時　々：5割未満）	実施している			実施していない
		かなり	よく	時々	
(7)	適正使用のための検査オーダーの提案（PBPM 等に基づいた入力支援等）	○	○	○	○
(8)	処方提案（医師の診断・検査・PRO 等と、PBPM 等に基づいた入力支援等）	○	○	○	○
(9)	受診時投与薬・処置薬等、院内で使用する薬剤の用法用量、相互作用、投与速度・配合変化等の確認	○	○	○	○
(10)	注射剤混合調製やシリンジ充填	○	○	○	○
(11)	抗がん薬や TPN 等の無菌調製	○	○	○	○
(12)	外来化学療法（がん）の治療の開始に当たり投薬の必要性、危険性等について文書により説明	○	○	○	○
(13)	外来化学療法（がん）に関わる指導、治療管理	○	○	○	○
(14)	経口抗悪性腫瘍剤に関する指導・治療管理	○	○	○	○
(15)	外来化学療法（非がん領域の生物学的製剤）の治療の開始に当たり投薬の必要性、危険性等について文書により説明	○	○	○	○
(16)	外来化学療法（非がん領域の生物学的製剤）に関わる指導、治療管理	○	○	○	○
(17)	抗体医薬品に関する指導・治療管理	○	○	○	○
(18)	周術期に関わる外来指導等（自施設の手術対応として）	○	○	○	○
(19)	(11)-(18)以外のハイリスク薬等の特定の薬剤疾病に対する薬剤師外来等による薬学的管理指導（調剤薬交付時以外）	○	○	○	○
(20)	院外処方箋監査	○	○	○	○
(21)	次回診察時までの患者モニタリング	○	○	○	○
(22)	次回診察までの保険薬局等からの情報収集・整理＊ ＊お薬手帳やトレーシングレポート等の情報の確認・整理	○	○	○	○
(23)	医師の診療情報提供書の作成支援	○	○	○	○
(24)	副作用報告の実施 （医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に基づく報告）	○	○	○	○

12. 不適切な投薬回避のための取り組みについて

a	**以下への薬剤師の関わりについて、該当する実施状況にチェックをつけてください**	実施状況の判断基準の目安→（かなり：8割以上 よ　く：5割以上 時　々：5割未満）	実施している			実施していない
			かなり	よく	時々	
(1)	持参薬や他院処方薬等を含めて総合的に評価し、重複投与や漫然処方等を回避し、処方の適正化、減薬・減量等に努めている		○	○	○	○
(2)	残薬等の確認、患者や家族の理解度や意向の把握等により、処方の適正化、減薬・減量等に努めている		○	○	○	○

	実施状況の判断基準の目安→（かなり：8割以上 よく：5割以上 時々：5割未満）	実施している			実施していない
		かなり	よく	時々	
(3) 治療経過に応じて総合的に評価し、ベンゾジアゼピン系薬他、向精神薬の漫然使用等を回避し、処方の適正化に努めている		○	○	○	○
(4) 処方意図、治療経過等に応じて総合的に評価し、不適切な抗菌薬の漫然使用等を回避し、処方の適正化に努めている		○	○	○	○
(5) その他（　　）		○	○	○	○

13. 外来腫瘍化学療法診療料算定について

(1)	外来腫瘍化学療法診療料算定について、令和6年度改定における要件緩和※により、改定前と比較して算定件数は増加しましたか。	○1:はい ○2:いいえ→設問14へ
(2)	(1)で〈いいえ〉と回答した場合、理由が明らかであれば教えてください。	

※令和6年度改定　外来腫瘍化学療法診療料3
やむを得ない理由等により専任の医師、看護師又は薬剤師を院内に常時1人以上配置することが困難であって、電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制を整備している医療機関の評価を新設する。

14. 貴施設では、在宅医療及び在宅医療のサポートを行っていますか

○1: 行っている	○2: 行っていない
↓（行っている場合のみ以下の質問に回答してください）	行っていない場合、設問15に進んでください

a　薬剤師による訪問業務について、該当するものすべてにチェックをつけてください

(1)	□	訪問薬剤管理指導または居宅療養管理指導を実施している
(2)	□	医師の訪問診療に同行し、薬物療法設計支援等を行っている
(3)	□	医師の依頼・指示により、調剤を伴わない、残薬状況や服薬アドヒアランスの確認も含めた薬物治療最適化のための訪問、患者支援を行っている
(4)	□	その他（　　）

b　薬剤師による他医療機関等との連携について該当するものすべてにチェックをつけてください

(1)	□	他医療機関での入退院時において、薬剤情報の共有・連携をしている
(2)	□	退院時共同指導に参加している
(3)	□	保険薬局薬剤師に対して、患者情報を提供している
(4)	□	訪問看護師やケアマネージャーに対して、薬物療法に関連する情報を提供している
(5)	□	その他（　　）

15. オンライン診療・指導について

a　貴施設では、オンライン（対面、電話等）による診察をおこなっていますか
該当するもの1つにチェックをつけてください

（1）○ 実施している　　（2）○ 実施を検討している　　（3）○ 予定なし

b　貴施設では、オンライン（対面、電話等）による服薬指導をおこなっていますか
該当するもの1つにチェックをつけてください

（1）○ 実施している　　（2）○ 実施を検討している　　（3）○ 予定なし

16. 外来・在宅での患者支援、他施設との連携について

a　以下への薬剤師の関わりについて、該当する実施状況等にチェックをつけてください 実施状況の判断基準の目安　→（かなり：8割以上／よく：5割以上／時々：5割未満）	実施している			実施していない
	かなり	よく	時々	
(1) 外来・在宅の患者支援情報として他の医療提供施設から提供を受けた情報を、薬剤師が確認している	○	○	○	○

実施している場合

(a)11月１ヶ月中に使用した情報媒体について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 電話連絡
□2: 保険薬局からの薬剤情報提供文書（トレーシングレポート）
□3: 病院・診療所、介護保険施設からの薬剤師による施設間薬剤情報提供文書（薬剤管理サマリー等）
□4: 病院・診療所、介護保険施設からの診療情報提供書
□5: お薬手帳（紙媒体）
□6: 電子版お薬手帳
□7: ICTを利用した地域連携システム
□8: メールやメッセージアプリ等
□9: 対面・カンファレンス等
□10: パーソナルヘルスレコード（PHR）
□11: マイナポータルの医療情報等
□12: 保険適用された治療用アプリ
□13: 血糖値モニタリングアプリ
□14: ePRO（PRO-CTCAEなど）
□15: その他（　　）

(b)確認した情報について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 病名
□2: 検査値
□3: アレルギー情報
□4: 副作用情報
□5: 患者特性
□6: 使用中の薬剤の情報・指導内容

□7: 使用中のOTC・サプリメント等の情報
□8: アドヒアランスに関する情報
□9: 服薬支援に関する情報(調剤上の工夫等)
□10: 服薬モニタリングデータ（効果、症状、副作用）
□11: その他(　　)

	実施状況の判断基準の目安→（かなり：8割以上／よ　く：5割以上／時　々：5割未満）	実施している			実施していない
		かなり	よく	時々	
(2) 外来・在宅診療に関わる薬剤師からの情報を、転院時に他施設（保険薬局、病院・診療所、介護施設等）に提供している		○	○	○	○

実施している場合

(a)11月１ヶ月中に使用した情報媒体について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 電話連絡
□2: 病院・診療所、介護保険施設からの薬剤師による施設間薬剤情報提供文書（薬剤管理サマリー等）
□3: 病院・診療所、介護保険施設からの診療情報提供書
□4: お薬手帳（紙媒体）
□5: 電子版お薬手帳
□6: ICTを利用した地域連携システム
□7: メールやメッセージアプリ等
□8: 対面・カンファレンス等
□9: その他（　　）

(b)提供している情報について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 病名
□2: 検査値
□3: アレルギー情報
□4: 副作用情報
□5: 患者特性
□6: 処方薬に関する情報・指導内容
□7: 中止、減薬・減量等に関する情報
□8: アドヒアランスに関する情報
□9: 服薬支援に関する情報(調剤上の工夫等)
□10: 処置等、診療時に使用した薬剤の情報・指導内容
□11: 服薬モニタリングデータ（効果、症状、副作用）
□12: その他(　　)

	実施状況の判断基準の目安→（かなり：8割以上／よ　く：5割以上／時　々：5割未満）	実施している			実施していない
		かなり	よく	時々	
(3) 治療薬の適正使用や治療の最適化に向けて、他の医療提供施設との遠隔診療等を通じて情報を共有し、院内外の多職種（薬剤師等）と連携した患者支援を実施している		○	○	○	○

実施している場合

(a)11月１ヶ月中に使用した情報媒体について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 電話連絡
□2: 薬剤師による施設間薬剤情報提供文書（薬剤管理サマリー等）
□3: 診療情報提供書（薬剤情報の確認・付記等）
□4: お薬手帳（紙媒体）
□5: 電子版お薬手帳
□6: ICTを利用した地域連携システム
□7: メールやメッセージアプリ等
□8: 対面・カンファレンス等
□9: パーソナルヘルスレコード（PHR）
□10: マイナポータルの医療情報等
□11: 保険適用された治療用アプリ
□12: 血糖値モニタリングアプリ
□13: ePRO（PRO-CTCAEなど）
□14: その他（　　）

(b)共有している情報について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 病名
□2: 検査値
□3: アレルギー情報
□4: 副作用情報
□5: 患者特性
□6: 処方薬に関する情報・指導内容
□7: 中止、減薬・減量等に関する情報
□8: アドヒアランスに関する情報
□9: 服薬支援に関する情報(調剤上の工夫等)
□10: 処置等、診療時に使用した薬剤の情報・指導内容
□11: 服薬モニタリングデータ（効果、症状、副作用）
□12: その他(　　)

(c)共同管理を実施している場合は、その内容も記述してください。

（　　）

		実施状況の判断基準の目安→ （かなり：８割以上 よ　く：５割以上 時　々：５割未満）	実施している			実施していない
			かなり	よく	時々	
(4)	治療薬の安全・効果的な使用に向けて、患者のモニタリング情報（症状・安全性・QOL 等）の共有が重要な薬物管理において、保険薬局と役割分担のうえ、診察前の服薬管理情報の提供を含めた課題解決のための患者支援を行っている		○	○	○	○

実施している場合

(a)11月１ヶ月中に使用した情報媒体について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 薬剤師による施設間薬剤情報提供文書（薬剤管理サマリー等）
□2: 薬剤情報提供文書（トレーシングレポート）
□3: お薬手帳（紙媒体）
□4: 電子版お薬手帳
□5: ICTを利用した地域連携システム
□6: パーソナルヘルスレコード（PHR）
□7: マイナポータルの医療情報等
□8: ePRO（PRO-CTCAEなど）
□9: その他（　　）

(b)共有している情報について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 病名
□2: 検査値
□3: アレルギー情報
□4: 副作用情報
□5: 患者特性
□6: 処方薬に関する情報・指導内容
□7: 中止、減薬・減量等に関する情報
□8:アドヒアランスに関する情報
□9:服薬支援に関する情報(調剤上の工夫等)
□10:処置等、診療時に使用した薬剤の情報・指導内容
□11:服薬モニタリングデータ（効果、症状、副作用）
□12:その他(　　)

(c)診療前の服薬管理情報として、患者支援をしている場合は、その内容も記述してください。

（　　）

17. 災害対策について

(1) 貴施設に薬剤部門の災害対策や危機管理などに関するマニュアルがありますか。
該当するものすべてにチェックをつけてください。

□1: ある（防災・災害対策や、災害時対応用）
□2: ある（災害以外の危機管理への対策用）
□3: 1.2共にない(→(c)へ)

(a)マニュアルが<ある>場合、1年以内にマニュアルの見直しをしましたか。	○1: した ○2: していない
(b)マニュアルが<ある>場合、1年以内に訓練（シュミレーション）をしましたか。	○1: した ○2: していない
(c) スタッフの災害時派遣に関わる規定がありますか。	○1: ある ○2: ない
(2)貴施設にBCP(Business Continuity Plan)がありますか。	○1: ある ○2: ない

(a)<BCPがある>場合、その位置づけは、どのようになっていますか。

○1:	医薬品供給や投薬について、BCPとして記述している
○2:	地域や連携BCP/BCMを策定し,地域の医薬品供給体制やスタッフの災害時派遣に関わる規定など,連携を図っている
○3:	在宅医療を提供する診療所としてのBCPを策定している

(3)貴施設にて、上記の他に取り組んでいる災害対策等がありましたら、記入してください。

F．介護関連

18. 介護保険施設について

a 併設もしくは近隣の関連法人で介護保険施設がありますか （介護老人保健施設、介護老人福祉施設、介護医療院等）	○1:ある ○2:ない →設問Gへ

b **a**に該当する介護保険施設数をそれぞれ教えてください。

(1)介護老人保健施設	(2)介護老人福祉施設	(3)介護医療院	(4)その他
施設	施設	施設	施設

c 該当する薬剤業務支援すべてにチェックをつけてください

(1) □ 調剤を行っている

(2) □ 処方設計支援をしている

(3) □ 薬剤管理指導を実施している

(4) □ 医薬品安全管理を実施している

(5) □ 入退所支援、ポリファーマシー対策

(6) □ その他（ ）

(7) □ 実施していない

G．その他

以降はフリー記載欄となっております。

診療所薬剤師の実態把握および今後の改善に向け、皆様の貴重なご意見をお伺いできますと幸いです。いただいた内容は今後の委員会活動に活用させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※郵送回答の際に欄が不足する場合は、別紙に記載し添付してください。

※記載いただいた内容に関連する資料等のご提供が可能でしたら、お願いいたします。

・郵送回答の場合：調査票返信の際に同封してください。

・WEB 回答の場合：日病薬総務課 somu@jshp.or.jp 宛に「診療所薬剤部門現状調査関連」として
ファイル添付等にてお送りください。

19. 診療所における注射剤調製や無菌製剤処理について、貴施設で取り組んでいることやお考えがありましたら、記入してください

20. 診療所における感染対策や予防接種について、貴施設で取り組んでいることやお考えがありましたら、記入してください

21. 院内フォーミュラリや地域フォーミュラリへの取り組みについて、事例や取り組みたいことなど、お考えがありましたら、記入してください

22. 薬物療法に伴う症状・副作用情報（質問紙やePRO等）や、自己測定も含めた検査値等（検査データ、血圧手帳等、PHR、専用アプリ等）の情報共有を基盤に、薬剤師が診察前面談や診療陪席等により、課題解決に向けた情報連携を行う継続的な外来/在宅患者支援について、お考えがありましたら、記入してください

23. 生成AIを活用されていますか？活用されている具体的取組み事例等、または日常業務への活用や問題点等がありましたら、記入してください

24. 薬学生・他所の施設の薬剤師や他の職種の研修・教育等について、貴施設で取り組んでいることや取り組んでいきたいことなど、お考えがありましたら、記入してください

25. 診療所薬剤師として、自己研鑽のための研修・教育等について、取り組んでいることやお考えがありましたら、記入してください

26. 診療所委員会へのご意見、回答に関する補足（具体的取組み事例等）または日常業務の問題点等がありましたら、記入してください

無床診療所の場合　設問は終了です。ありがとうございました。

有床診療所の場合　「H.入院医療」へお進みください。

H. 入院医療

27. 入院診療に関わる薬剤師数、業務時間および実施件数

a　入院診療に関わる薬剤師数を記入してください。該当のない場合は0（ゼロ）と記入ください

(1)　常　勤（　　人）　　(2)　非常勤（　　人）※常勤換算数ではなく頭数として回答してください。

b　11月中の任意の1週間における病棟薬剤業務時間（概算）※ を記入してください

(※)複数薬剤師で担当している場合は、各人×業務時間の総計として回答してください。あくまでも概算で結構です

病棟薬剤業務実施時間 **注）注射剤混合調製以外の調剤時間、薬剤管理指導時間は含まない**	約	時間/週

c　11月中の任意の1週間における以下の業務の実施件数※ を記入してください

(※)算定の有無にかかわらず、実務上の実施件数として回答してください

(1)薬剤管理指導	約	件/週
(2)退院時薬剤情報管理指導	約	件/週

d　11月中の任意の1週間における以下の業務の算定件数※ を記入してください

(※)診療報酬上の算定件数として回答してください

(1)薬剤管理指導	件/週
(2)退院時薬剤情報管理指導	件/週

28. 薬剤管理指導の施設基準に関わる届けを出していますか

○1:届け出ている	**○2:届けていない**
	↓（届け出をしていない場合は次に回答してください）
	理由について該当するもの1つにチェックをつけてください **(1)を選択した場合は、その理由にチェックをつけてください**
	(1)　○　施設基準を満たしていない □1:常勤換算薬剤師2名（1名は常勤であること）以上を満たさない □2:その他（　　）
	(2)　○　施設基準を満たしているが、(人手不足等のため）届け出ていない
	(3)　○　その他(　　)

29. 入院中の患者の薬物療法の課題解決のための支援業務について

a　以下の各業務への薬剤師のかかわりについて、該当する実施状況にチェックをつけてください

実施状況の判断基準の目安　→
（かなり：8割以上／よ　く：5割以上／時　々：5割未満）

	実施している			実施していない
	かなり	よく	時々	
(1) 入院前の持参薬の事前確認（及び服薬計画の提案）	○	○	○	○
(2) 入院時（後）の持参薬の確認（及び服薬計画の提案）	○	○	○	○
(3) 含量規格や剤形等の処方内容の変更（提案）	○	○	○	○
(4) 薬剤の種類、投与量等の変更（提案）	○	○	○	○
(5) 検査オーダーの追加・入力（PBPM 等に基づく）	○	○	○	○
(6) 副作用回避又は確認のためのフィジカルアセスメントの実施	○	○	○	○
(7) 患者への治療に用いる各薬剤等の説明	○	○	○	○
(8) 医師の診断・検査結果に基づく処方入力（PBPM 等に基づく）	○	○	○	○
(9) 注射剤混合調製やシリンジ充填	○	○	○	○
(10) 抗がん剤や TPN 等の無菌調製	○	○	○	○
(11) 点滴ライン・輸液ポンプ（シリンジ）等の確認	○	○	○	○
(12) 周術期に関わる治療管理、処置・投与の適正化・指導	○	○	○	○
(13) カンファレンス、申し送り、回診等によるスタッフ間の患者情報の共有	○	○	○	○
(14) 医師の診療情報提供書の作成（関与）（退院時薬剤管理サマリー等を含む）	○	○	○	○
(15) 退院時の薬学的管理指導	○	○	○	○
(16) 副作用報告の実施（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に基づく報告）	○	○	○	○

30. 入院患者への不適切な多剤投薬回避のための取り組みについて

a　以下への薬剤師の関わりについて、該当する実施状況にチェックをつけてください

実施状況の判断基準の目安　→
（かなり：8割以上／よ　く：5割以上／時　々：5割未満）

	実施している			実施していない
	かなり	よく	時々	
(1) 持参薬（入院前の処方薬）について総合的に評価し、入院中の漫然処方を回避し、処方の適正化、減薬・減量等に努めている	○	○	○	○
(2) 入院中の治療経過に応じて総合的に評価し、ベンゾジアゼピン系薬他、向精神薬の漫然使用等を回避し、処方の適正化に努めている	○	○	○	○
(3) 入院中の治療経過に応じて総合的に評価し、不適切な抗菌薬の漫然使用等を回避し、処方の適正化に努めている	○	○	○	○
(4) その他（　　）	○	○	○	○

31. 入退院時の患者支援、他施設との連携について

a　以下への薬剤師のかかわりについて、該当する実施状況等にチェックをつけてください

実施状況の判断基準の目安　→
（かなり：8割以上／よ　く：5割以上／時　々：5割未満）

	実施している			実施していない
	かなり	よく	時々	
(1) 入院に際して、他の医療提供施設（保険薬局、病院・診療所、介護施設等）から提供を受けた情報を薬剤師が確認している	○	○	○	○

実施している場合

(a)11月１ヶ月中に使用した情報媒体について該当するものすべてにチェックをつけてください

- □1: 電話連絡
- □2: 保険薬局からの薬剤情報提供文書（トレーシングレポート）
- □3: 病院・診療所、介護保険施設からの薬剤師による施設間薬剤情報提供文書（薬剤管理サマリー等）
- □4: 病院・診療所、介護保険施設からの診療情報提供書
- □5: お薬手帳（紙媒体）
- □6: 電子版お薬手帳
- □7: ICTを利用した地域連携システム
- □8: メールやメッセージアプリ等
- □9: 対面・カンファレンス等
- □10: パーソナルヘルスレコード（PHR）
- □11: マイナポータルの医療情報等
- □12: 保険適用された治療用アプリ
- □13: 血糖値モニタリングアプリ
- □14: ePRO（PRO-CTCAEなど）
- □15: その他（　　）

(b)共有している情報について該当するものすべてにチェックをつけてください

- □1: 病名
- □2: 検査値
- □3: アレルギー情報
- □4: 副作用情報
- □5: 患者特性
- □6: 使用中の薬剤の情報・指導内容
- □7: 使用中のOTC・サプリメント等の情報
- □8: アドヒアランスに関する情報
- □9: 服薬支援に関する情報（調剤上の工夫等）
- □10: 服薬モニタリングデータ（効果、症状、副作用）
- □11: その他(　　)

	実施している			実施していない
	かなり	よく	時々	
(2) 退院に向けてカンファレンス等により薬剤師を含めた多職種で情報共有、患者支援を検討している	○	○	○	○
(3) 退院時共同指導を実施し、薬剤師が関与している	○	○	○	○
(4) 退院に際して、他の医療提供施設（保険薬局、病院・診療所、介護施設等）に薬剤師からの情報を提供している	○	○	○	○

実施している場合

(a)11月１ヶ月中に使用した情報媒体について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 電話連絡
□2: 薬剤師による施設間薬剤情報提供文書（薬剤管理サマリー）
□3: 診療情報提供書（薬剤情報の確認・付記等）
□4: お薬手帳（紙媒体）
□5: 電子版お薬手帳
□6: ICTを利用した地域連携システム
□7: メールやメッセージアプリ等
□8: 対面・カンファレンス等
□9: その他（　　）

(b)提供している情報について該当するものすべてにチェックをつけてください

□1: 病名
□2: 検査値
□3: アレルギー情報
□4: 副作用情報
□5: 患者特性
□6: 入院期間中に使用した主な薬剤の情報・指導内容
□7: 中止、減薬・減量等に関する情報
□8: アドヒアランスに関する情報
□9: 服薬支援に関する情報(調剤上の工夫等)
□10: 退院前1週間以内に使用した薬剤の情報・指導内容
□11: 退院時の指導内容
□12: 退院時の服薬モニタリングデータ（効果、症状、副作用）
□13: その他(　　)

以上で調査終了です。ありがとうございました。